

(別紙3(2))

事業所名 グループホーム ひだまりの家 宮代

目標達成計画

作成日: 平成 23年 7月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念の共有と実践が日々の中で意識する場が少ない。介護現場でどう実践につなげていくかが課題。	職員が理念を理解し、日々の生活支援に取り組む。	フロアカンファレンスでの理念の確認。個々の利用者様にどのように支援すれば理念を達成できるか？生活を豊かにできるかを考える。	6ヶ月
2		家族の意見を思うように聞けていない。コミュニケーション不足と流れができていないのが課題。	家族の意見をどの職員も聞き入れられるようにする。	意見、苦情の情報を集めるシートを利用する。(面会時、入居者様の状態を伝えると共に、何か言いたい事や聞きたい事がないかをたずねる。面会時意見や苦情を書ける紙を置いておく)	12ヶ月
3		勉強会、研修会が出来ていない。(回数が少ないのと、外への研修会への参加ができていない)どのように意欲を高めていくかが課題。	年間を通しての学習計画を立て参加する。	外部の研修機関を利用し、勉強会をする。ホーム内で行わなければならない研修のリストアップをし、業務委員会と連携をとりながら、ホーム内の研修を行う。	12ヶ月
4		運営推進会議を活かせていない。どのようにしたらグループホームを地域の方々に理解と協力を得てもらえるのかをはっきりとさせるのが課題。	地域へ出て行き協力を得られる関係作りをする。	外部の出席者の都合の良い日を伺い日程を調整し開催回数を増やす。地域活動に参加する。会議に欠席された方には会議報告をする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。